

# 「脳の世界」シンポジウム

「脳」は自然科学に残された最大のフロンティアであり、21世紀は「脳の世紀」といわれています。近年、脳科学分野の進歩はめざましく、医学関係者のみならず一般の人々にまで、その関心は日増しに高まっています。脳科学の進展は、老人病、パーキンソン病などの脳神経病やアルコール依存症の根絶に貢献、教育問題、人工頭脳の開発、人間の精神活動の理解に役立つといわれています。

これまでの歴史の中で、人類は人間の心と体を解き明かし、「生命」の仕組みを理解しようと努力を重ねてきました。特に、20世紀末にはDNA解析が進んだことで人々の理解は急速に進んできました。しかし、「脳」については未だ解明できていない謎が数多く残っています。

本シンポジウムでは、「発達と脳」「老化と脳」「再生と脳」をテーマに、「脳」についての正しい知識、理解を得ていただくとともに、現在行われている最先端の研究成果を紹介するなど、多様な角度から「脳」について考察します。

## 記

### 1. 脳の世界シンポジウム「脳をいかに育むか」

①期 日；2005年9月23日（祝） 13:00～16:00

②会 場；よみうり文化ホール（約600人）

〒560-0082 豊中市新千里東町1-1-3 TEL.06-6833-5031

地下鉄御堂筋線・北大阪急行、大阪モノレール「千里中央」駅下車徒歩1分

③主 催；NPO法人脳の世紀推進会議、文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域、読売新聞社

④プログラム

○第1部 講演

- ・津本忠治 理化学研究所脳科学総合研究センターユニットリーダー
- ・川島隆太 東北大学未来科学技術共同研究センター教授
- ・正高信男 京都大学霊長類研究所教授

○第2部 パネルディスカッション 「脳をいかに育むか」

- ・パネリスト 講演各先生方
- ・コーディネータ 未定

### 2. 脳の世界シンポジウム「脳の老化とどう向き合うか」

①期 日；2005年10月8日（土） 13:30～16:00

②会 場；名古屋市科学館サイエンスホール（約300人）

〒460-0008 名古屋市中区2-17-1 TEL.052-201-4486

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車約5分

③主 催；NPO法人脳の世紀推進会議、文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域、名古屋市科学館、読売新聞社

④プログラム

○第1部 講演

- ・柳澤勝彦 国立長寿医療センター研究所副所長
- ・田辺敬貴 愛媛大学医学部医学科神経精神医学教授
- ・森 悦朗 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学教授

○第2部 パネルディスカッション 「脳の老化とどう向き合うか」

- ・パネリスト 講演各先生方
- ・コーディネータ 未定

### 3, 脳の世界シンポジウム「脳は甦るのか」(仮称)

- ①期 日 ; 2005年11月5日(土) 13:30~16:00
- ②会 場 ; 日本科学未来館7階 みらいCANホール(約300人)  
〒135-0064 東京都江東区青海2-41 TEL.03-3570-9151(代表)  
新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅下車徒歩約5分、同「テレコムセンター駅下車約4分、東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅下車約15分
- ③主 催 ; NPO法人脳の世紀推進会議、文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域、日本科学未来館、読売新聞社
- ④プログラム
  - 第1部 講演
    - ・岡野栄之 慶応大学医学部教授
    - ・伊佐 正 自然科学研究機構生理学研究所教授
    - ・河村 満 昭和大学医学部教授
  - 第2部 パネルディスカッション「脳は甦るのか」(仮題)
    - ・パネリスト 講演各先生方
    - ・コーディネータ 佐倉統 東京大学大学院情報学環助教授

### 4, 広報及びミニ展示

#### ①広報

読売新聞紙上での告知のほか、チラシなど宣伝物、HP、自治体広報誌、DM・メルマガなどにてシンポジウム広報を行います。

#### ②ミニ展示

- ー1. 各シンポジウム開催会場にて当日、脳をテーマとしたミニ展示を実施します。
- ー2. 名古屋市科学館エントランスなどにて、シンポジウム前後1~2週間の間、ミニ展示を実施します。